

## 田中敏彦

## 履歴・研究業績

## 経歴

1953. 2 鳥取県米子市生まれ
1968. 4 鳥取県立米子東高等学校 入学
1971. 3 同上 卒業
1971. 4 京都大学文学部 入学
1976. 3 同上 卒業
1976. 4 京都大学大学院文学研究科修士課程仏語仏文学専攻入学
1978. 3 同上 修了（文学修士）
1978. 4 同上 博士課程 進学
1979. 10 フランス政府給費留学生として渡仏
- パリ第八大学哲学科博士課程 入学
1983. 4 同 中退
1985. 11 同 哲学研究所 Institut polytechnique de philosophie 修士課程  
入学
1986. 3 京都大学大学院文学研究科博士課程仏語仏文学 中退
1987. 3 パリ第八大学哲学研究所修士課程 中退
1978. 9 京都女子大学非常勤講師 （～1979. 8）
1987. 4 神戸市外国語大学講師
1988. 4 同上 助教授
1989. 4 神戸大学教養部非常勤講師 （～1993. 3）
2001. 4 神戸市外国語大学教授
2002. 9 大阪女子大学人文社会学部非常勤講師（前期集中講義）
2017. 4 京都ノートルダム女子大学非常勤講師（現在に至る）
2018. 3 神戸市外国語大学教授 定年退職 同 名誉教授

## 研究業績

### I. 著訳書

- 1) (著書)『ドゥルーズ横断』 共著(「ドゥルーズ哲学序説」241-276 頁) 河出書房新社 1994
- 2) (訳書)『千のプラトール』 共訳(第12章「遊牧論」405-478 頁) 河出書房新社 1994
- 3) (著書)『西洋哲学史の再構築に向けて』共著(第18章「ドゥルーズと哲学史」496-523 頁) 昭和堂 2000
- 4) (著書)『ネオプラトニカ・2』共著(第12章「ベルクソンとプロティノス」293-306 頁) 昭和堂 2000
- 5) (訳書)『哲学を読む』 共訳(12 パスカール 13 スピノザ 97-109 頁・翻訳と解説) 人文書院 2000
- 6) (著書)『プラトン主義の伝統における継承と変容』共著(第13章「プロティノスとフランス現代哲学」107-111 頁) 2003
- 7) (著書)『西洋哲学史観と時代区分』共著・渡邊二郎監修  
(第6章「フランス現代の哲学史観」244-264 頁) 昭和堂 2004
- 8) (著書)『現代の哲学』共著・渡邊二郎監修  
(第6章「フランス現代哲学とニーチェ」214-237 頁) 昭和堂 2005
- 9) (著書)『西洋哲学史再構築試論』共著・渡邊二郎監修  
(第3章「哲学史観の諸類型と類型論的哲学史観」103-116 頁) 昭和堂 2007

### II. 論文

- 1) 「多様体の哲学」単著(『現代思想』・第10巻15号所収) 榊青土社 1982
- 2) 「ドゥルーズとカント」単著(『現代思想』・第12巻11号所収) 榊青土社 1984
- 3) 「戦争機械と国家装置」単著(『Gaya Scienza』・第4号) 榊冬樹社 1986
- 4) 「Langage et durée」単著(『神戸外大論叢』・第38巻第5号所収) 1987
- 5) 「個体論(Ⅰ)」単著(『神戸外大論叢』・第40巻第2号所収) 1989
- 6) 「L'article zéro existe-t-il ?」単著(『神戸外大論叢』・第44巻第1号所収) 1993
- 7) 「最後のユーモア」単著(『現代思想』・第24巻1号所収) 榊青土社 1996
- 8) 「様々な他者」単著(『神戸外大論叢』・第50巻第4号所収) 1999
- 9) 「個体論(Ⅱ)」単著(『神戸外大論叢』・第51巻第5号所収) 2000
- 10) 「ドゥルーズ哲学の地図」単著(『神戸外大論叢』・第52巻第6号所収) 2001
- 11) 「なぜ漱石は『満韓ところどころ』を中断したのか？」単著(『日本語文学』第34集・韓国) 2006
- 12) 「誤訳を考える」単著(『神戸外大論叢』・第57巻第1-5号所収) 2006
- 13) 「福沢諭吉の『脱亜論』をめぐって」単著(『神戸外大論叢』・第59巻第3号所収) 2008
- 14) 「漱石の大連講演『物の関係と三様の人間』について」単著(『神戸外大論叢』・第60巻第2号所収) 2009
- 15) 「「征韓論」再考」単著(『神戸外大論叢』・第63巻第2号所収) 2013

- 16) 「韓流ブームの底流—「脱亜入欧」からの脱却」単著 (『外国学研究 84』) 2013
- 17) 「「インディアンは必ず勝つ」—『アバター』の比較社会論的考察」単著、(『神戸外大論叢』・第 66 巻第 1 号所収) 2016

### Ⅲ. 口頭発表

- 1) 「ギョーム言語学の現在」日本フランス語学会シンポジウム・玉川大学  
1993/06/11
- 2) 「ゼロ冠詞は存在するか？」日本フランス語学会第 125 回例会・上智大学  
1993/10/30
- 3) 「プロティノスとフランス現代哲学」第五回新プラトン主義協会例会・金沢大学  
1998/09/19
- 4) 「ドゥルーズと哲学史」第十二回哲学史研究会・姫路獨協大学  
1999/03/28
- 5) 「ドゥルーズとデリダ」第十四回哲学史研究会・関東学院大学葉山セミナーハウス  
2000/03/30
- 6) 「フランス現代の様々な哲学史観」第十五回哲学史研究会・南山大学  
2001/03/26
- 7) 「フランス現代哲学とニーチェ」第十八回哲学史研究会・立命館大学  
2002/09/08
- 8) 「哲学史観の諸類型と類型論的哲学史観」第二十回哲学史研究会・金沢大学  
2003/09/15
- 9) 「なぜ漱石は『満韓ところどころ』を中断したのか？」2006 年度日本語文学会・釜山外国語大学校 2006/02/18